



なぎがまCSだより

第7号

発行責任者 西村 厚志

なぎがまコミュニティスクール（CS）3年目の活動スタート！

下諏訪町は、下中・南小学校区エリアでの「コミュニティスクール（地域と共にある学校づくりを進める仕組み）」を「なぎがまコミュニティスクール（CS）」と称しています。初めて耳にされる方もいらっしゃるかと思います。

私たち、なぎがまCS運営委員会は「**学校、地域、保護者がともに手を取り合い、子ども（未来の下諏訪を担う若者）を育てる上で必要な支援など**」に対しての「**調整役・まとめ役**」を担っています。

学校支援部は、荒汐部屋力士との交流会、クラブ活動の講師の紹介、ピアノとドラムによるコンサートの鑑賞、諏訪カルテットの鑑賞など、様々な活動に取り組みました。

また、地域連携部の働きかけにより、中学生が初めて地域の行事にスタッフとして参加し、頑張っている子どもたちの姿に地域の皆様から温かいお言葉をいただきました。

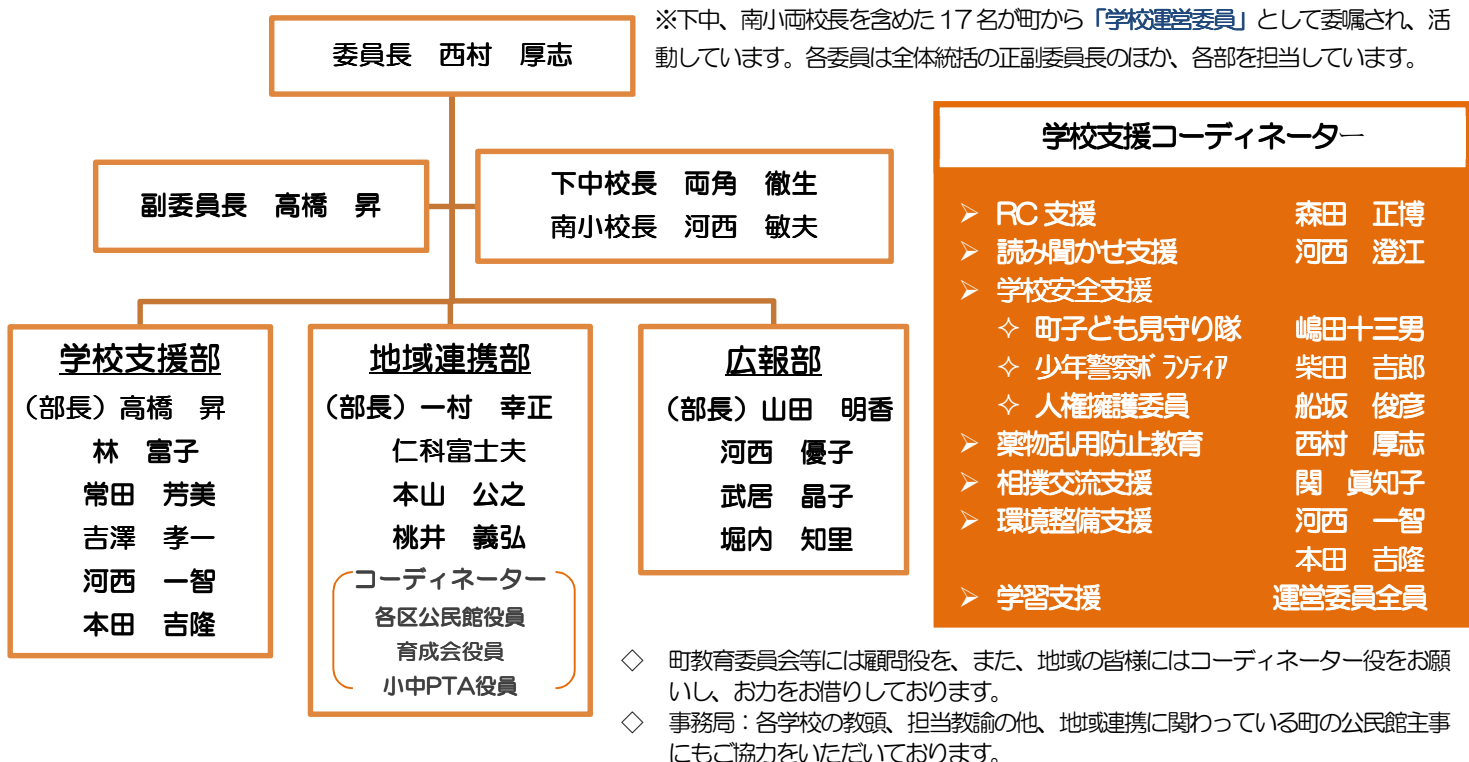
今年度も既に活動がスタートしています。なぎがまCS運営委員会は今後も、必要な支援の実現に向けて取り組んで参りますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

★★ 下中生の地域行事への参加！ ★★

地域役員の皆様から、「中学生が地域の活動に参加することは、大変ありがたいとともに、未来の下諏訪を担うリーダーとなり得るといふ大きな意味がある。」とお言葉をいただきました。今年度も地域での大活躍を期待します。



平成29年度 なぎがまコミュニティスクール運営委員会組織



地域連携合同会議が開催されました



去る5月22日(月)に地域連携合同会議が南小で開催されました。この日は、下中の地区長、南小の町別児童会長、そして区長、地域役員、教職員の総勢約80名が一堂に会し、今年度の各地域での活動や行事内容について話し合いました。

地区ごとに分かれた話し合いでは、中学生、小学生から、こんなことをしたいという活発な意見が出されるなど、子どもたちにとっても、一緒に地域づくりを学べるいい機会でありました。

この地域連携合同会議に参加しての感想を中学生と地域役員の方に伺ってみました。



大人、子どもとで地域のことについて考える会議をすることは、下諏訪町がよくなっていくと思うから良いことだと思います。



中学生とあまり話す機会がないので、この会議で中学生が地域の行事にもっと参加したいということが分かってよかったです。

どすこい！お相撲さんに大興奮！ ～荒汐部屋力士との交流会～



「わあ〜でっかい！」「本物のお相撲さんだ！」学校に姿を現した力士たちを見るなり、南小の子どもたちは大はしゃぎ！ 昨年に引き続き、荒汐部屋力士11名が下中、南小に来てくれました。

蒼国来関は下中生に対する講話の中で『今日までになるにはケガなどたくさんの困難があり、決していい道のりではなかったが、この道を選んでよかった。皆さんも自分の強い意志を持ち、自分を信じ困難なことがあっても夢を簡単に諦めないでください。そしてどこかで人は繋がっている。体のケガと同様に、心のケガも周りの人との繋がりで乗り越えていけるはず』と、心に響くお話をしてくださいました。



福轟力 寛龍 突光力 荒篤山 廣瀬 若隆元 若元春 飛騨野 常川 綿谷



しこな
四股名読める
かな！



南小3・4年生は外の土俵で力士と相撲。4年生男子は1対1で取組をしました。



とても体が柔らかいことに驚き！毎日の柔軟体操が大切とのことでした。



南小4~6年生は力士と一緒に給食。給食を食べる力士に興味津々でした。



下中生に対し熱い思いを語る蒼国来関。四股名の由来は、親方が訪問した内モンゴルで見た空の蒼さがとても印象的で、その国から来た・・・ということでした。



まさに「縁の下の力持ち」床山(力士の髷を結う方)の床光さん。力士を目指したが体が小さく断念。いつも力士の後ろにいるが、床山なくして力士あらず・・・の大切な存在です。



交流授業の終了後、なぎがまCS西村委員長より荒汐部屋おかみさんに謝礼の贈呈。来年はぜひ「諏訪湖場所」開催を期待しております。